

# INON

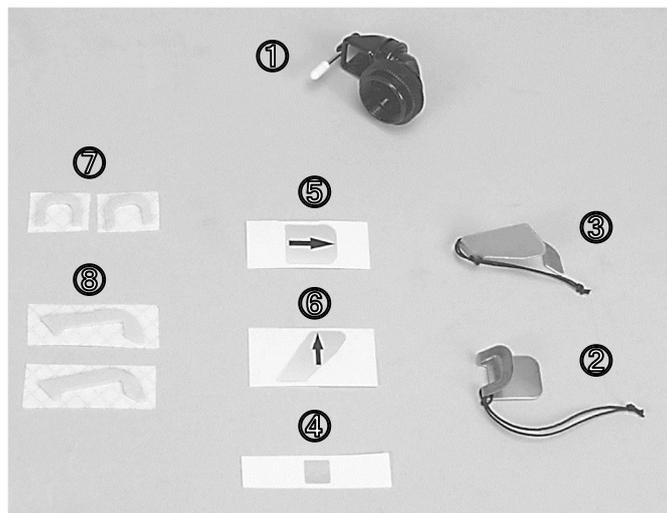
## イノン ワイヤレス接続キット

イノン製品のお買い上げ有難う御座います。

イノン ワイヤレス接続キットは、対応カメラシステム/対応ストロボ間の“ワイヤレスでの光接続”を、S-TTL 自動調光を初め、対応ストロボ側の高度な機能を保ちつつ実現する接続オプションです。

本製品は、「Z-330」/「D-200」/「S-2000」等、弊社ワイヤレス接続対応ストロボ専用オプションとなります。

製品内訳	:	・ ストロボ側ミラーユニット ①	×1
		・ カメラ側ミラー1 ②	×1
		・ カメラ側ミラー2 ③	×1
		・ カメラ側ミラーシール ④	×1
		・ カメラ側ミラー1 用矢印シール ⑤	×1
		・ カメラ側ミラー2 用矢印シール ⑥	×1
		・ カメラ側ミラー1 用両面テープ ⑦	×2
		・ カメラ側ミラー2 用両面テープ ⑧	×2



対応カメラシステム/  
ストロボアーム  
(2022年1月現在)

**S-TTL オート対応構成**  
下記“ワイヤレス接続対応ベース”セット 或いは  
“ベース”類+“アーム”類を組み合わせ、弊社でワイヤレス接続での動作対応が確認されたカメラシステム(\*1)

- ・ イノン グリップベース D4 セット  
(「グリップベース D4」と「Z ジョイント」のセット製品)
- ・ イノン シューベース II + Z ジョイント
- ・ イノン シューベース M6

(\*1)ワイヤレス接続での動作対応が確認されたカメラシステムは、[弊社 Web ページの対応表](#)をご確認ください。

### 【光接続システム ワイヤレス接続 メーカー別対応表】

<http://www.inon.co.jp/products/strobe/optical/wireless.html>

### S-TTL オート非対応構成

S-TTL オート対応構成以外の、カメラシステム/ストロボシステム (\*2)

- (\*2) 全てのカメラシステム/ストロボシステム、或いはストロボアーム構成での動作を保障するものではありません。具体的には、既にワイヤレス接続以外で、本製品の対応ストロボが接続され、正しく動作しているカメラシステムに、“影消し”用のサブストロボとして、手軽に増灯する用途等を想定しています。この場合には、物理的に対応ストロボを取り付け可能な範囲で、ストロボアーム構成等に関する制限はありません。

対応ストロボ  
(2022年1月現在)

- ・ イノン Z-330
- ・ イノン D-200
- ・ イノン S-2000 (\*3)
- ・ イノン Z-240 Type4
- ・ イノン D-2000 Type4

(\*3) 本製品同等品が同梱されています。

ご使用前の確認事項 : 本製品を使用してワイヤレス接続を行う為には、使用するストロボアームの構成、及び、対応ストロボ側で設定/ご使用となる調光方式によって、以下 2 パターンの構成が可能です。ご使用用途により、適宜お選び頂けます。

(A) **S-TTL オート対応構成** :S-TTL 自動調光を含めた、(お手元のカメラを光 D ケーブル接続した場合に対応する)すべての調光方式を使用可能な構成です。

→ ストロボ側ミラーユニット、カメラ側ミラー双方の取り付け、及び設定が必要です。

(B) **S-TTL オート非対応構成** :S-TTL 自動調光以外の、(お手元のカメラを光 D ケーブル接続した場合に対応する)調光方式を使用可能な構成です。

→ ストロボ側ミラーユニットのみ取り付け、設定が必要です。

構成(A)の場合、前述の[弊社 Web ページの対応表](#)にて、お手元のカメラシステムで必要となる『カメラ側ミラー』の種類をご確認ください。

## ご使用前の準備

構成(A)/(B)

### 対応ストロボをカメラシステムに取り付けます

“ワイヤレス接続対応ベース”セット、或いは“ベース”類+“アーム”類を用いて、対応ストロボをカメラシステムに取り付けます。取り付け方法の詳細は、対応ストロボ/各製品付属の使用説明書をご確認下さい。

構成(A)のみ

### 『カメラ側ミラー』貼り付け前の準備作業を行う

弊社 Web ページ対応表のカメラ側ミラーの注記\*をご確認いただき、『カメラ側ミラー』を取り付ける前に必要となる、カメラシステム側の準備作業を行って下さい。

特にハウジングの拡散板/拡散板カバーを取り外す必要がある場合等には、下記の囲み記事、及びハウジングの使用説明書/保証書を良くお読み頂き、弊社、及びハウジング販売/製造会社の保証条項について、ご確認/ご理解頂いた上、下記、各準備作業の手順を参考に、実際の作業を行なって下さい。

拡散板/拡散板カバーを取り外す作業(以下「当作業」と記述)等は、ハウジング製造元が関知している物ではありません。「当作業」等についてのご質問、お問合せ等は、決してハウジング製造元に行わないで下さい。また、同様の理由により、「当作業」等を行う場合、お客様ご自身が全ての責任を負う必要がある事をご確認下さい。

- 「当作業」等を行う事によって、ハウジングの保障期間内であっても、ハウジング製造元の無償修理を受ける事が出来なくなる可能性があります。予めご了承下さい。ハウジングの保証条項詳細につきましては、各製品付属の使用説明書/保証書をご確認下さい。
- 万一、「当作業」等を行う事によって不具合(ハウジング本体、ハウジング付属品、ハウジング内にセットするカメラ本体等の不具合等)が生じた場合、弊社は一切、その責任を負いかねます。
- 万一、「当作業」等を行う事によって浸水等の不具合が生じ、この不具合に起因する、付随的損害(撮影に要した諸費用及び撮影により得べかりし利益の喪失等)が発生した場合においても、弊社は一切、その責任を負いかねます。

**以上の注意事項、及び保証条項について、ご納得頂けない場合には、「当作業」等を行わないで下さい。未使用の場合に限り、関連製品の返品を受け付けます。詳細につきましては、弊社までお問合せ下さい。**

### 【フラッシュ拡散板】の取り外し (富士フィルム WP-FXF200/WP-FXF100 等)

「フラッシュ拡散板」を構成する“乳白色の板状部品”を、ネジ(3本)をプラス0番のドライバーで緩めて取り外した後、同“黒色の箱状部品”を、ハウジング本体に固定している“白色の棒状部品”2個と共に、ネジ(5本)を緩めて外します。各部品、及び取り外したネジ(合計8本)は、元に組み付ける際必要となりますので、大切に保管します。



### 【「拡散板」及び「拡散板カバー」の取り外し】

「拡散板」及び「拡散板カバー」をハウジング本体に固定しているネジを、プラス0番のドライバーで外します(合計3~4箇所)。各部品、及び取り外したネジは、元に組み付ける際必要となりますので、大切に保管します。



### 【「拡散板」を手で外した後、「拡散板カバー」の取り外し】

「拡散板」(乳白色の板状部品)を取り外した後、「拡散板カバー」をハウジング本体に固定しているネジを、プラス0番のドライバーで外します(合計3箇所)。「拡散板部」、及び取り外したネジ3本は、元に組み付ける際必要となりますので、大切に保管します。



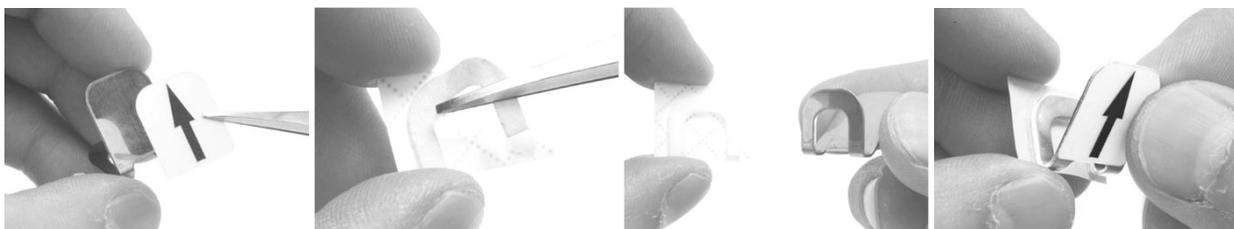
### 必要な「カメラ側ミラーユニット」を作成する

前項「ご使用前の確認事項」でご確認頂いた『カメラ側ミラー』が「カメラ側ミラー1」/「カメラ側ミラー2」である場合には、次項の【カメラ側ミラーユニットの作成方法】を参考に、各“カメラ側ミラー”に、対応する“両面テープ”/“矢印シール”を貼り付けて、各“カメラ側ミラーユニット”を作成して下さい。

構成(A)で、  
カメラ側ミラーユニットが必要となる場合のみ

### 【カメラ側ミラーユニットの作成方法】(画像は「カメラ側ミラーユニット1」)

各“カメラ側ミラー”毎に、対応する“カメラ側ミラー用矢印シール”を貼った後、対応する“カメラ側ミラー用両面テープ”のはく離ライナー片方を剥がし、もう一方のはく離ライナーを残したまま、“カメラ側ミラー”に貼り付けます。



## 取り付け方法

### ・『カメラ側ミラー』を取り付けます

#### 構成(A)のみ

各カメラシステムに合わせ、『カメラ側ミラー』を貼り付けます。

“カメラ側ミラーユニット”(「カメラ側ミラーユニット 1」/「カメラ側ミラーユニット 2」)は、下中央/右画像の様に、カメラ内蔵ストロボの正面に貼り付けます。この際、下画像左の様に、“カメラ側ミラーユニット”の矢印が、対応ストロボの“ワイヤレス接続対応スレーブセンサー”の方向へ正しく向く様に貼り付けて下さい。

また、万一脱落した際の紛失予防に“カメラ側ミラーユニット”の貼り付け前に、ハウジングのハンドストラップつり輪などへひもを通し、繋いでおく事をお勧めします。



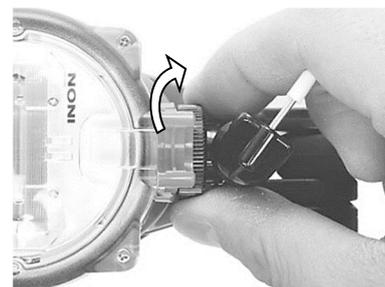
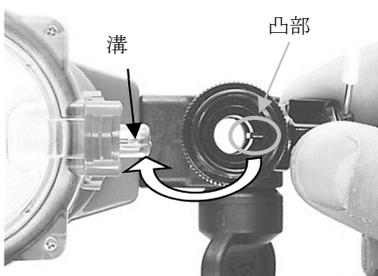
また、“カメラ側ミラーシール”は、各ハウジングの右画像位置に貼り付けて下さい。



### ・『ストロボ側ミラーユニット』を取り付けます

#### 構成(A)/(B)

対応ストロボの「ワイヤレス接続対応スレーブセンサー」に、「ストロボ側ミラーユニット」を取り付けます。「ワイヤレス接続対応スレーブセンサー」表面の溝に、「ストロボ側ミラーユニット」内側の凸部を合わせながら、しっかりとネジ込み、取り付けて下さい。

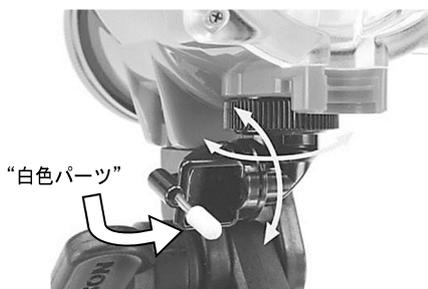


### ・『ストロボ側ミラーユニット』の向きを調整します

#### 構成(A)/(B)

「ストロボ側ミラーユニット」は、下画像左内の矢印 2 箇所所で回転する様になっています。「ストロボ側ミラーユニット」の“白色パーツ”が、『カメラ側ミラー』[構成(A)の場合] / マスターストロボ[構成(B)の場合]の方向を向く様に調整します。

**対応ストロボの向きに応じて、都度、下記画像の様に調節し直す必要があります。**



## 使用方法

対応ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。

なお、本製品を用いて対応ストロボの『ワイヤレス接続』を行う場合、対応ストロボ本体の向きを変えた際には、“ストロボ側ミラーユニット”の向きも必ず調整しなおす必要があります。

特に構成(A)の場合には、十分な精度で S-TTL オート調光を動作させる上で非常に重要です。ご使用の際には、“ストロボ側ミラーユニット”と“カメラ側ミラー”との間に、カメラ内蔵ストロボ光を遮る障害物(ご自身の手など)が位置していないか等を含め、十分ご留意下さい。

- 使用上の注意** :
- ・ 安全の為、本製品の取り付け/取り外しの際には、カメラシステム、及び対応ストロボのメインモードスイッチが必ず『OFF』の状態で行なって下さい。
  - ・ 本製品を用いて『ワイヤレス接続』を行う場合には、撮影の直前で対応ストロボのメインモードスイッチを『ON』とし、撮影が終わったら直ぐに『OFF』とする事をお勧めします。  
『ワイヤレス接続』可能な対応ストロボの受光センサーは高感度な為、周辺で発光する他のストロボはもちろん、蛍光灯の光や、水面に反射した太陽光等といった物でも発光のトリガーとなり、誤発光の原因となります。ご注意ください。
  - ・ 本製品を用いて『ワイヤレス接続』を行う場合には、『光 D ケーブル接続』時のみに対応する、“クリアフォトシステム”を利用する事は出来ません。“クリアフォトシステムフィルム”の貼り付けられたカメラシステムに組み合わせた場合、対応ストロボが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- メンテナンスについて** :
- ・ ご使用後は、『ストロボ側ミラーユニット』を対応ストロボから取り外し、『カメラ側ミラー』はカメラシステムに貼り付けたまま、真水中(30℃以下)に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エアガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい(完全乾燥には数日掛かります)。
  - ・ 特に**カメラ側/ストロボ側ユニットの各ミラー表面は丁寧に洗い、塩分を良く落して下さい。各ミラーの表面に傷が付いたり、塩分が残留して曇ってしまったりすると、信号がうまく伝わらなくなる場合があります。**
- オプションについて** :
- ・ *カメラ側ミラー1 用両面テープ* ¥100-(税抜)  
製品内訳画像中の、⑦(1 枚)です。
  - ・ *カメラ側ミラー2 用両面テープ* ¥100-(税抜)  
製品内訳画像中の、⑧(1 枚)です。